



SWEET AS SEVENS GIRLS CAMP 2017



ラグビーを通じて、楽しみながら語学力を身につける

この度、英語を使用している7人制ラグビークリニックを千葉県浦安市にて開催しました。クリニックのテーマは「ラグビーを通じて英語に触れ合い、外国人コーチと英語で交流を図る」。それはラグビーを楽しみながら英語を学ぶことができる。もっといえば「苦手意識のある英語もラグビーを通じてなら楽しむ

ことができるのでは」という企画です。

2部制で行われたクリニックでは、第1部は浦安市の小学生50名。第2部は関東近郊の中高生女子選手を対象に行いました。コーチングスタッフは、元オールブラックスセブンスキャプテン エドウィン・コッカー氏、元オールブラックスセブンス モーガン・モロウ氏、現女

子ブラジルセブンス代表ヘッドコーチ ルーベン・サミュエル氏。そしてゲストコーチとしてHSBCワールドラグビー

シリーズ北九州大会参加の為来日している7人制女子ラグビーブラジル代表と総勢17名でコーチングを行いました。

CONTENTS

Sevens Girls Clinic in Urayasu City Report

RUGBY×ENGLISH

Coch Interview エドウィン・コッカー & ルーベン・サミュエル

Special Interview 成城学園 笹川翼 ポジションHO ラグビー歴1年





言葉の壁も一瞬で消える。 コミュニケーションの原点

第1部は、小学生へのクリニックがスタート。まずはコーチ陣の自己紹介から。小学生たちは恥ずかしそうに外国人コーチを見上げている。でも遠慮気味だったのは最初だけでした。

練習が始まると相手も外国人であろうと言葉が通じなからうとあまり関係ない様子。コーチ陣は4つのチームに分かれさせ、ナーバスになっていた子供達を察してゲーム形式のウォーミングアップを取り入れコーチ自身も子供達と一緒に走り回っている。続いてボールを使ったトレーニング。コーチたちはとにかく積極的にコミュニケーションを図っている。約1時間程度のクリニックでしたが子供達にとっては凄く良い経験となったのではないかと思います。

第2部は、中学生と高校生それぞれ分かれてクリニックがスタート。中学生のコーチについてはブラジル代表チーム。ヘッドコーチのルーベンはニュージーランド出身でブラジル代表ヘッドコーチに就任する前はニュージーランドワイカト州代表のヘッドコーチを務めていた。ユーモアに溢れ、ラグビーと同時に若い選手達には様々な事を学ばせながらチーム作りをする素晴らしい人物である。ルーベンは指示を出しアシスタントにはブラジル代表選手達がつく。ブラジル代表選手達も流暢な英語を操る。グラウンドの片隅に置いてあった小さなサッカーゴールを選手達は持ってきて、緊張している中学生に対しまずはラグビーボールでサッカーを始めた。



2チームに分かれ、ブラジル代表選手達もそれぞれのチームに加わる。中学生がゴールを決めると、ブラジル選手達は派手に声をあげ、中学生達にハイタッチやハグをしに行く。周りで見ているブラジル選手はダンスをしながら応援している。こんな状況に中学生達は最初は戸惑いながらも、次第に笑顔があふれハイタッチもハグも板についてきている。

楽しむことで自然と 交流が始まる

一方高校生選手達を担当しているコーチはエドウィン・コッカー。現オーストラランド代表ヘッドコーチそしてオールブラックスの選手達にもパーソナルでスキルトレーニングを行っているセブンス指導のスペシャリスト。彼の指導の特徴は、基本練習を各パートに分けて細く行う、実戦練習までしっかり時間をかける。そして全てのことに対して理論的に説明する。ラグビー経験の浅い選手にもわかりやすく、また私のようなラグビーに長く携わっている者でも「なるほど!」と感心させられるコーチング。エドウィンは英語で選手達に説明している。選手達は慣れない英語での説明を集中して聞いている。選手達はもちろん全ては聞き取れない。そうするとエドウィンはデモンストレーションを行いながら選手達にさらに説明する。簡単なワードを使用して選手達に質問する。こういうことを繰り返しながらコミュニケーションを取っていく。選手達も少しずつ英語を使い始める。ラグビーを通じてならなんとなく英語も理解でき楽しく思える。練習はタックルありの実戦練習へ。そこで選手達は、先程やっていた基本練習がこの練習へ繋がっていることに改めて気付く。この気付くということ

世界の舞台に羽ばたくために、肉体的な

RUGBY ×



は大いなる成長であり、自分が実行してきたことに価値を感じるからこそがひとつの成功体験だと思います。成功体験を繰り返し人は成長できる。成功し改めて反省できたり、仲間をリスペクトでき、自分自身謙虚になれる。

ラグビーへの愛が 選手たちを繋ぐ

練習が全て終わり、コーチの元へ全員が集まる。中学生、高校生、ブラジル代表選手。国籍も文化も違うけど同じラグビーを愛する者同士総勢60名の交流。彼女達の強みはラグビーを通じて色々な人々と出逢い交流ができること。最後はブラジル代表選手達が出逢いを祝して歌を披露してくれた。またどこのグラウンドでの再会を約束しスイートアズセブンスクリニックを終りました。



OFF SHOT



トレーニングとコミュニケーション能力を高める

ENGLISH

スポーツを楽しむー。それは、簡単なようで実に難しい。
遊び半分でふざけながらやると怪我をするし、
本当の意味で楽しくない。
真剣に取り組むことで、国籍や言葉の壁をも消し去り、
敵味方共に絆が生まれ、心から“楽しかった”と思える。
その“楽しむ”という難しいことを簡単にクリアしてしまう
10代の若者たちに世界のステージが見える。

コーチ件プロデューサー 村杉徐司



熱心に学ぶ姿に
とても驚かされた。
沢山の経験が
将来への投資となる。

Coach Interview_01

元7人制NZ代表主将
現オークランド代表ヘッドコーチ
現オールブラックススキルコーチ

エドウィン・コッカー

子供たちや女子選手たちの熱心に学ぶ姿にとても驚かされました。今回のクリニックでは、全ての選手が無理なく学べる様に、レベル別にグループ分けをして、経験豊かなブラジル代表選手を各グループに振り分けて、ラグビーを楽しむということを前提にコーチングを行いました。ユース時代に沢山の経験を積むことは、選手たちにとって将来への良い投資となります。最後に日本でこのようなコーチングクリニックに携わることができとても光栄でした。ありがとうございました。



参加者全員にとって
素晴らしい経験でした
浦安市の人々のおもてなしに
本当に感謝しています。

Coach Interview_02

現7人制女子ブラジル代表 ヘッドコーチ

ルーベン・サミュエル

この度はワールドシリーズサーキット北九州大会に参加するにあたり浦安市でキャンプをさせて頂きました。浦安市の人々のおもてなしに本当に感謝しております。またスイートアズセブンズクリニックにも参加させて頂き、子供達や日本の若い女子選手たちに我々の経験をシェアできたこと、一緒に参加したニュージーランドのコーチ陣達と時間を共有できたことはブラジル代表の選手達にもとても良い経験になりました。ラグビーは決してただのスポーツではありません。人々や文化を繋げていくことができるスポーツです。また近い将来皆さんとラグビーを通じて時間を共有できたら嬉しいです。

Sevens Girls Clinic in Urayasu Staff Profile



ゲストコーチ
7人制女子
ブラジル代表選手たち



ヘッドコーチ
エドウィン・コッカー
元7人制NZ代表主将
現オークランド代表ヘッドコーチ
現オールブラックススキルコーチ



コーチ
モーガン・モロー
元7人制NZ代表



コーチ
ルーベン・サミュエル
現7人制女子ブラジル代表
ヘッドコーチ



コーチ件プロデューサー
村杉徐司
(株)スイートアズ代表。清水建設ラグビー部
COLLEGE RIFLES (NZ)

Special Interview

ポジションHO ラグビー歴1年(成城学園)

笹川翼選手 17歳



クリニックに参加してどうでしたか?

今回初めてクリニックに参加させていただき、世界を代表する選手と交流ができてとても楽しく勉強になりました。また言葉が通じなくてもラグビーを通じて文化を超えた交流ができることを嬉しく思いました。

あなたにとって国際交流とはどのような価値がありますか?

私にとって国際交流とは日本では得られないことや日本人では考えられないことを学べて、自分の考えかたや夢を広げてくれるものだと思います。

将来の夢は?

日本にとって欠かせないプレーヤーになり、世界の舞台で勝負することです。

スポンサー企業様へひとこと

今回このようなクリニックを開催していただきありがとうございます。これからもラグビーを通じて国際交流のできる場を作っていただけたら嬉しいです。

Special thanks

リノベる株式会社	renoveruco., Ltd.
株式会社千代田ホテル	Chiyoda Hotel Inc.
株式会社エクストリーム不動産	Exdream Real Estate Co.,Ltd
アイエムエフ株式会社	IMF Co.,Ltd.
トワロン株式会社	TOWARON Co.,Ltd.
社会保険労務士法人シェルパコンサルティング	Sherpa Consulting
社会保険労務士法人アーク&パートナーズ	ARC&partners
岩崎清隆	Kiyotaka Iwasaki
浦安ラグビーフットボール協会	Urayasu City Rugby Foot Ball Association
浦安市	Urayasu City

スポンサーの皆様

この度のキャンプにつきまして、ご支援、ご協力をお願いいたしましたところ快くご賛同いただき、誠にありがとうございました。

お陰様をもちまして、4回目のキャンプを終えることができました。

これもひとえに皆様方からいただきました絶大なるご協力の賜物と心より感謝しております。

SWEET AS 代表 村杉徐司



スイートアズ

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-2-1 ダコタハウス2F

SWEET AS TEL / 03-5577-4429 E-mail / info@sweetas.jp

Rugby is a great way to have international exchanges.